

報告： 第二回 S・T 共催オープンゴルフ・コンペ 無事終わる。

東京都公立高等学校退職校長会

☆ 絶好のコンディションの中での開催

本会と爽健会(都退職校長で組織するゴルフ親睦会)との共催による第二回 S・T オープンゴルフ・コンペが去る 10 月 21 日(水)に山梨県上野原市にあるサンメンバーズ・カントリークラブで開催されました。心配された二つの台風も本州をそれ、特に影響なく、会場には 6 組 19 名が参集。定刻の午前 8 時 30 分、爽健会会長 小泉晴一氏(元 都立駒場高校校長)と本会会長 多田丈夫氏(元 都立国立高校校長)の両氏から挨拶。続いて、参加者全員の紹介と競技委員長の林 善治氏(元 羽田工業高校校長)から本日のルール説明が行われました。

当日は今年の快晴とは違い肌寒く曇天でしたが、日差しを避け活動するには丁度良いコンディションでした。別紙集合写真をご覧ください。参加者 19 名の内訳は、爽健会・本会会員が 15 名、ゲスト参加が 4 名でした。競技は 19 名の 6 組がアウトコースから午前 9 時 05 分にスタート。今回のコンペはハンデ戦ではなく、新ペリア方式による競技のため、誰が優勝するか終わってみたいとわからないというスリリングな特色があり、楽しさの中にも真剣な空気が流れました。戦いは、無事終わり、クラブ内で祝勝会が開かれました。

☆ 優勝は、廣見 正剛氏

全員、事故もなくプレーが終了した時は、あたりが薄暗くなっていました。17 時、舞台は盛りだくさんの賞品が用意された祝勝会に移りました。冒頭、爽健会会長の小泉氏からは、「皆さん大変よく頑張りました。・・・」との激励の言葉。続いて、多田会長から、サンメンバーズ CC 取締役支配人 豊田茂良氏の紹介があり、3 氏からご挨拶をいただきました。

なお、日勝スポーツ工業、都民互助会、サンメンバーズ CC 3 社からは、心温まる協賛品を頂戴したこと、参加者の皆さんからチャリティを持参されコンペに花を添えていただいたことと、感謝の一言であります。続いて、表彰式と懇親会が賑やかに行われ、祝勝会が終了しました。

さて、第二回の栄えある優勝者は、高速道路の途中で事故でスタートギリギリ間一髪間に合った廣見 正剛氏でした。病を押して参加し、見事優勝した氏は、自身の寸評で「まさか自分が」と嬉しさを隠せないでいました。参加者全員が大いなる賛意を贈り、氏を讃えました。優勝の弁で、「数年前に体調不良であったが、ゴルフが出来る喜びかみしめた。次回も挑戦する・・・」と力強く語っていました。準優勝者は、昨年度優勝の競技委員長の林 善治氏でベスト・グロス賞(87.0)も獲得しました。名実ともに実力者です。第 3 位は、本会の長である多田 丈夫氏でした。ホームコースを知り尽くし、大胆華麗なプレーを楽しんでいました。また今回は、サンメンバーズ CC 取締役支配人 豊田茂良氏が特別ゲストとして参加いただきました。HC0 の氏は「緊張の連続であった」と語り、ひと味違った見事なプレーを披露し、我々に楽しませてくれました。17 時 30 分、戦いの余韻を残し、全員会場を後にしました。

主催者として、様々な意見に真摯に耳を傾け、多くの会員の理解を得ながら、このコンペが末永く続くよう、心して次なる準備にかかる所存であります。

終わりに、多忙な中、今回の運営委員を引き受けていただいた、佐治恒孝氏(元、晴海総合高校校長)、榎本成己氏(元、南多摩高校校長)、菅井博之氏(元狛江高校校長)並びに参加者全員に心より御礼を申し上げ、報告といたします。 ー平成 27 年 10 月 27 日ー (文責:覆面子)